

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教室

『日本語教室の設置運営』

受託団体名 堺市中国帰国者交流会

1、事業の趣旨：目的

当地泉北ニュータウンは帰国者とその家族が約2,000人居住し、未だに来日する人々が続いて居ります。彼らにとって日本語の習得は容易ではありません。しかし永住を希望し、就業を願う彼らには日本語の習得は必須条件です。経済的にも恵まれない彼らが地域社会に溶け込むためには地域のボランティアによる日本語指導が絶対必要です。

2、運営委員会の開催について

[概要]

開催日時	出席者	議題	会議の概要
平成21年 9月11日	岡田 進、高橋義江 青木美沙子、孫守業 宇郷安男、宇郷紀代子 梅沢しずえ 計7名	11月ふれあい祭り参加の件 12月料理教室開催の件 学習者増加への対応	地域社会との連携を深める 為イベント参加は必要 学習者増加に対する教師の 数が不足、如何にしてボラ ンティアを集めるか。
平成21年 12月6日	岡田 進、高橋義江 青木美沙子、孫守業 梅沢しずえ 宇郷安男、宇郷紀代子 仲嶋華子 谷口孝行 計9名	2月春節祭開催の件 3月旅行の件 宇郷夫妻退会の件	地域との交流のため例年通 り春節祭を開く 旅行は学習者の楽しみの一 つ、日帰り旅行を行う 長年中心になって活動して こられた御夫妻に去られる のは痛いと思えない

《写真》写真はありません。皆さん写真の公表を了承しません。

会議は二回のみのようなのですが、日本語教室の学習後随時行っています。皆さん多忙ですので全員が同時に集まるのは困難です。

3、日本語教室開催について

別紙通り

3 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

堺市中国帰国者交流会 日本語教室(別称 泉ヶ丘日本語教室)

② 開催場所

堺市南区茶山台堺市市民センター内南図書館集会室

③ 学習目標

大学や専門学校日本語学習ではない。でき得る限り即役に立つ生活擁護の習得が目標です。学習者も老若男女、職業も様々です。中国で受けた教育水準も大差があります。教える側は生徒の要望に応え、全くの初心者はいウエオから、上級者には日本語検定に挑戦を目指して教えます。

④ 使用した教材、リソース

生活日本語(中国からの帰国者のための)	文化庁
みんなの日本語 初級 I II	スリーエーネットワーク
日本語能力試験 3.4 級	アルク
日本語能力試験 読解編 2 級	ユニコム
関西弁入門	アルク
標準日語	中国 世界図書出版公司
敬語日本語	中国 外語教学與研究出版社

他は教師が自分で作製のもの多数です。

⑤ 受講者の募集方法

概ね帰国者の口コミに依りますが、行政の窓口での広報で知らせています。又色々なイベント活動を通じ、存在をアピールしています。募集のチラシではありませんが、三か月分の予定表を出しています(添付)

⑥ 受講者の総数 72 人 (受講人数) (添付名簿通り, 部外秘)

⑦ 開催時間数 (回数) 154 時間 (全 77 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

別表通り

⑧ 日本語教室の具体的内容

講師 日曜日 (10.00-12.00) 初級担当 相木、稲田、松尾、藤川 中
中級担当 宇郷、谷口、安井、永島、
高級担当 芝田、岡田、豊田、奥本
補助通訳 高橋、仲嶋、青木

土曜日 (18.30-20.30) 初級担当 藤川、宇郷
中級担当 谷口、岡田
補助 高橋、仲嶋

参加者 別紙通り (部外秘として下さい)

使用教材 主要教材

初級 みんなの日本語 I
講師が自分で作製
中級 みんなの日本語 I、II
高級 講師が自分で選定
日本語検定問題集
新聞

生徒は年齢の幅が大きく、又受けてきた教育の程度も大きな差があるので、ひとまとめにはできない。講師が判断し、内容を決めている。

生徒は土曜日、日曜日、両方とも受講できる。仕事の加減で片方しかできぬ人が多い。全くの初級者には日曜日に来てもらうことにしている。

小学生は親の同伴が無いと、お断りしている。事故が心配。

中国人以外の外国人は原則断る、教師がいない為。大学留学生も断る。 s

開催場所 堺市市民センター集会室 (土、日とも同じ場所)
堺市南区茶山台
Tel.090-3268-1405(岡田の携帯番号)

4 事業に対する評価について

①当初の学習目標の達成状況

基本的には目標は日常会話の習得です。学習者の出入りが頻繁で各人の習得状況の把握は難しいですが、全般的に学習意欲は高く、恐らく普通の我々子弟が通う学校の生徒より、勉強したいという気持ちは強い。真面目です。授業中無駄話をしたり携帯電話を掛けたりする者はいません。少ない収入の中で電子辞書を買っています。一年すれば、日常会話には不自由なくなります。今年度も検定一級に一人合格しました。これまで工場で手作業の仕事に従事していた女性がスーパーのレジに採用されました。日本語を習得すればより良い仕事が見つかる例だと考えています。中学三年生三人が志望の高校に入学しました。

②学習者の習得状況

アイウエオと日常挨拶からスタートした学習者も継続して学習を続ければ、三ヶ月で片言話すようになります。とにかく積極的に話すことを強制しています。文法は後回しで、「てにをは」の助詞抜きでも話すことを主眼においております。上級者には、より高い読解力を付けるため著名な文学作品の講読を勧めています。

③日本語教室設置運営による効果、成果。

講師への謝礼が僅か月 5,000 円ですが支払いできる。これによって、講師の定着率が高まりました。幾らボランティアといっても全くの手弁当では長続きしません。成果を挙げるには優秀な熱心な講師を集める事です。教室設置運営が軌道に乗ってきて、地域で認められるようになった。昨年 5 月には堺市より表彰状を頂いた。日本語習得を必要とする中国人が、次々と来るようになりました。教室は満杯状況です。

④地域関係者との連携による、効果、成果。

我々の日本語教室は中国帰国者交流協会の日本語教室として運営しています。中国帰国者が日本人社会に溶け込むには、地域との連携が不可欠です。正直に申して、帰国者は日本人社会にとって歓迎される存在ではありません。それどころか、蔑視、排斥をする人たちも少なからずいます。言葉の壁が大きな障壁です。我々は色々なイベントを開催し又参加しています。日帰り旅行、ふれあい祭り、料理教室、春節祭などなど。これ等は地域社会との交流の良い機会であり、日本語学習者がこれ等に積極的に参加することで、地域の人達に良い印象を与えています。

⑤改善点、今後の課題について

。現状 日本語を習得希望の中国人は依然増えています。教室は満杯状況、

態です。これに対応する講師が足りない。一人でも休まれるとやりくりが苦勞しています。同じ講師が同じ学習者を教える事を原則としていますので、狭い一部屋の教室を細かく分けて使っています。語学の勉強に必需のテープレコーダーも狭いので遣いづらい状況です。

- b 今後の課題 学習者の定着率を高める必要があります。転職で、転宅で来られなくなる。折角当方が教材を用意して待っていても、何の連絡も無く、ぱったり来なくなる。数ヶ月もして、突然現れる。この現象が講師を悩ませます。これの解決方法は今のところ見つかりません。講師の定着率は良くなりました。しかし皆高齢です。何とか若い講師が欲しい。謝礼がもう少し多く出せたらと考えています。
- c 今後の活動予定、展望 学習者の増大に対応して、教室を増やす。せめてあと一教室確保したい。優秀で熱心な講師を募りたい。中国人の新規来日は絶対減る事は無いと確信する。徴収する学費を値上げしたい。これによって、教室の財政状況の安定化を図りたい。
- d その他参考資料。外国人、特に中国人の増加は、当地において必ずしも歓迎されるものでない。添付のビラで判るとおり、排斥運動さえ起こっている。日本と中国の関係が良くない事を反映していると思う。ボランティアの中には、これに嫌気をさして辞める人もいる。